

# 宮崎県経済の動き

(平成17年7～9月期)

## 目 次

1	総	論	-----	1
2	各	論	-----	3
3	資 料	編	-----	8

平成17年12月

宮崎県総合政策本部統計調査課

# 1 総論

本県の経済は、生産は一部に増加の動きがみられるものの、生産活動全体としては微減となった。消費は緩やかに持ち直しの動きがみられるものの、雇用は一服感がみられ、投資や企業関連も依然厳しい状況にある。景気は、持ち直しの動きに引き続き足踏み感がみられる。

各分野の動きを見ると、生産活動は、「電子部品・デバイス工業」が増加に転じたが、「食料品・たばこ工業」が力強さを欠いたため、全体としては微減となった。大口電力使用量は、前年同期を上回った。

消費関連は、新車登録・届出台数や航空便利用客数が引き続き前年同期を上回るなど、緩やかに持ち直しの動きがみられる。

雇用情勢は、有効求人倍率が前期を下回り、また新規求人数も前年同期を下回っており、持ち直しの動きに一服感がみられ、依然厳しい状況にある。

投資関連は、新設住宅着工戸数や公共工事請負金額が前年同期を下回るなど、低調に推移した。

企業関連も、企業倒産件数、負債額が前年同期を下回ったものの、依然厳しい状況にある。

## 主な経済指標

下段：「単位」の欄に注釈のある項目を除き、前年同期比(%)

分野	指標	単位	H16	H16	H17	H17	H17
生産	鉱工業生産指数 (季節調整値)	(H12=100)	108.0	102.3	99.0	99.9	p 98.9
		前期比	3.2	5.2	3.3	0.9	1.0
	鉱工業在庫指数 (季節調整値)	(H12=100)	93.2	93.2	97.2	100.5	p 105.2
		前期比	0.5	0.1	4.3	3.4	4.7
	大口電力使用量	千kwh	459,534	457,975	438,308	474,129	475,962
消費	大型小売店 販売額	百万円	21,954	25,534	22,406	22,213	22,673
			5.3	3.1	2.9	1.9	6.2
	新車登録台数	台	7,196	6,933	8,766	6,800	7,581
			7.6	1.6	0.9	12.3	5.4
	新車届出台数	台	6,401	6,099	7,941	6,406	6,663
			1.3	1.0	1.3	2.6	4.1
	航空便 利用客数(乗)	人	392,474	384,371	404,699	362,927	403,126
			7.7	2.1	2.1	1.4	2.7
航空便 利用客数(降)	人	391,823	405,069	381,240	359,531	403,737	
		7.6	2.3	1.0	2.0	3.0	
主要ホテル・ 旅館宿泊客数	人	298,544	311,224	306,581	254,214	p 301,770	
		1.4	13.6	3.7	1.7	1.1	
消費者物価指数 (総合指数)	(H12=100)	98.2	98.5	97.6	97.6	97.4	
		0.3	0.6	0.0	0.2	0.8	
雇用・労働	有効求人倍率 (季節調整値)	倍	0.63	0.63	0.62	0.63	0.58
		前期差:ポイント	0.04	0.00	0.01	0.01	0.05
	新規求人数	人	18,944	18,312	20,001	16,721	17,216
投資	新設住宅着工 戸数	件	2,350	2,110	1,478	1,929	2,179
			24.3	4.2	9.6	0.5	7.3
	公共工事請負 金額	百万円	65,843	55,559	57,792	30,170	46,973
企業・金融	企業倒産件数	件	25	23	16	27	21
			3.8	20.7	48.4	35.0	16.0
	企業倒産負債額	百万円	6,747	2,622	10,316	6,661	4,337
		71.5	51.1	188.4	114.0	35.7	

注 1 pは速報値(暫定値)である。

2 大型小売店販売額の前年同期比は、既存店どうしを比較した数字である。

前回（平成17年4～6月期）からの変更点

	前 回	今 回
期 間	平成17年4～6月期	平成17年7～9月期
総 論	本県の経済は、生産は一部に <u>力強さを欠いているものの、堅調な動きもみられ、生産活動全体としては微増となった。消費や雇用は一部持ち直しの動きがみられるものの、投資や企業関連は依然厳しい状況にある。景気は、持ち直しの動きに引き続き足踏み感がみられる。</u>	本県の経済は、生産は一部に <u>増加の動きがみられるものの、生産活動全体としては微減となった。消費は緩やかに持ち直しの動きがみられるものの、雇用は一服感がみられ、投資や企業関連も依然厳しい状況にある。景気は、持ち直しの動きに引き続き足踏み感がみられる。</u>
生産関連	生産活動は、一部に <u>力強さを欠いているものの、堅調な動きもみられ、全体としては微増となった。</u>	生産活動は、一部に <u>増加の動きがみられるものの、全体としては微減となった。</u>
消費関連	消費関連は、 <u>一部に持ち直しの動きがみられる。</u>	消費関連は、 <u>緩やかに持ち直しの動きがみられる。</u>
雇用・労働関連	雇用情勢は、依然厳しい状況にあるが、 <u>一部に持ち直しの動きが続いている。</u>	雇用情勢は、 <u>持ち直しの動きに一服感がみられ、依然厳しい状況にある。</u>
投資関連	投資関連は、低調に推移した。	投資関連は、低調に推移した。
企業・金融関連	企業・金融関連は、依然厳しい状況にある。	企業・金融関連は、 <u>企業倒産件数及び負債額が前年同期を下回ったものの、依然厳しい状況にある。</u>

## 2 各論

### (1) 生産関連

鋳工業生産指数、鋳工業出荷指数（3 - 1表）は、ともに前期をやや下回った。

ウェイトの高い業種別に生産指数（2 - 1表）の推移を見ると、「食料品・たばこ工業」は前期を下回ったが、「電子部品・デバイス工業」は前期を上回った。総合指数としては前期をやや下回った。

鋳工業在庫指数（3 - 1表）は、4期連続で前期を上回った。

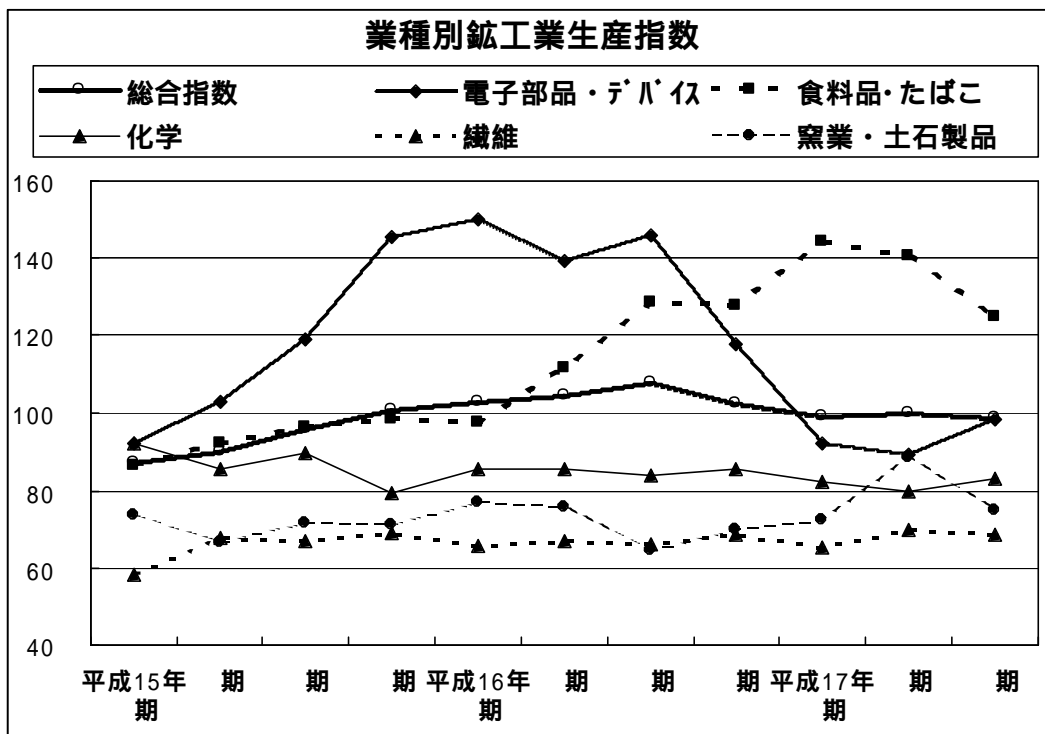
在庫循環の推移を示す在庫循環図（2 - 2表）で見ると、「在庫調整局面」となった。

大口電力使用量（3 - 2表）は、前年同期を上回った。

生産活動は、一部に増加の動きがみられるものの、全体としては微減となった。

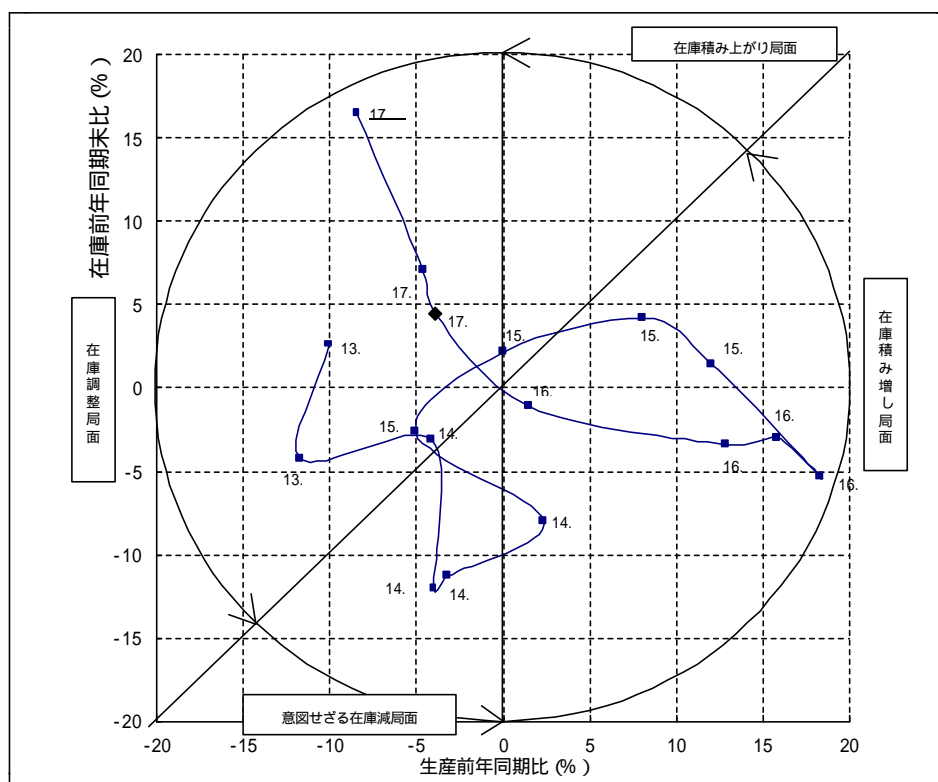
主な業種別鋳工業生産指数（平成12年=100）

（2 - 1表）



## 在庫循環図

( 2 - 2 表 )



- 1 生産前年同期比、在庫前年同期末比は原指数で算出。
- 2 在庫前年同期末比は、昨年と今年の各 3 , 6 , 9 , 1 2 月を比較。

### 在庫循環図

在庫循環図は、生産指数の伸び率と在庫指数の伸び率を利用して、在庫循環の 4 段階を示した図である。

#### 在庫循環図が示す 4 段階

##### 意図せざる在庫減局面【景気回復初期局面】

生産、在庫ともに縮小で、かつ生産より在庫の方がより縮小している状態である。

##### 在庫積み増し局面【景気回復局面】

生産を増加させて在庫を積み増していき、在庫の伸びは生産の伸びを上回ることがない状態である。

##### 在庫積み上がり局面【景気減速局面】

生産はなおも増加基調であり、その生産の増加率を上回って在庫が増加していく状態である。

##### 在庫調整局面【景気低迷局面】

生産は減少に転じ、在庫水準を下げていく状態である。

(2) 消費関連

大型小売店販売額 (3 - 3表) は前年同期を上回ったものの、既存店どうしの比較では前年同期を下回った。

新車登録台数 (3 - 4表) は、4期連続で前年同期を上回った。

新車届出台数 (3 - 4表) も2期連続で前年同期を上回った。

航空便利用客数 (3 - 5表) は、乗降客数ともに2期連続で前年同期を上回った。

主要ホテル・旅館宿泊客数 (3 - 6表) は、前年同期を上回った。

消費者物価指数(宮崎市) (3 - 7表) は、総合指数、生鮮食品を除く総合指数ともに2期連続で前年同期をやや下回った。

消費関連は、緩やかに持ち直しの動きがみられる。

(3) 雇用・労働関連

有効求人倍率 (3 - 8表) は、前期を下回った。また、全国の完全失業率 (3 - 8表) は、前期と横ばいであった。

新規求職申込件数 (3 - 9表) は、2期連続で前年同期を上回った。

新規求人数 (3 - 9表) は、前年同期を下回った。

実質賃金指数(きまって支給する給与)、総実労働時間指数 (3 - 10表) は、前年同期を上回り、所定外労働時間指数 (3 - 10表) は、前期同期を下回った。また、常用雇用指数 (3 - 10表) は、前年同期と横ばいとなった。

雇用情勢は、持ち直しの動きに一服感がみられ、依然厳しい状況にある。

(4) 投資関連

新設住宅着工戸数 (3 - 11表) は、前年同期を下回った。

公共工事請負件数 (3 - 12表) は、当期、年度累計ともに前年同期を上回った。

しかし、公共工事請負金額 (3 - 12表) は、当期、年度累計ともに前年同期を大きく下回った。

投資関連は、低調に推移した。

(5) 企業・金融関連

企業倒産件数 (3 - 13表) は前年同期を下回り、また、負債額 (3 - 13表) も前年同期を大きく下回った。

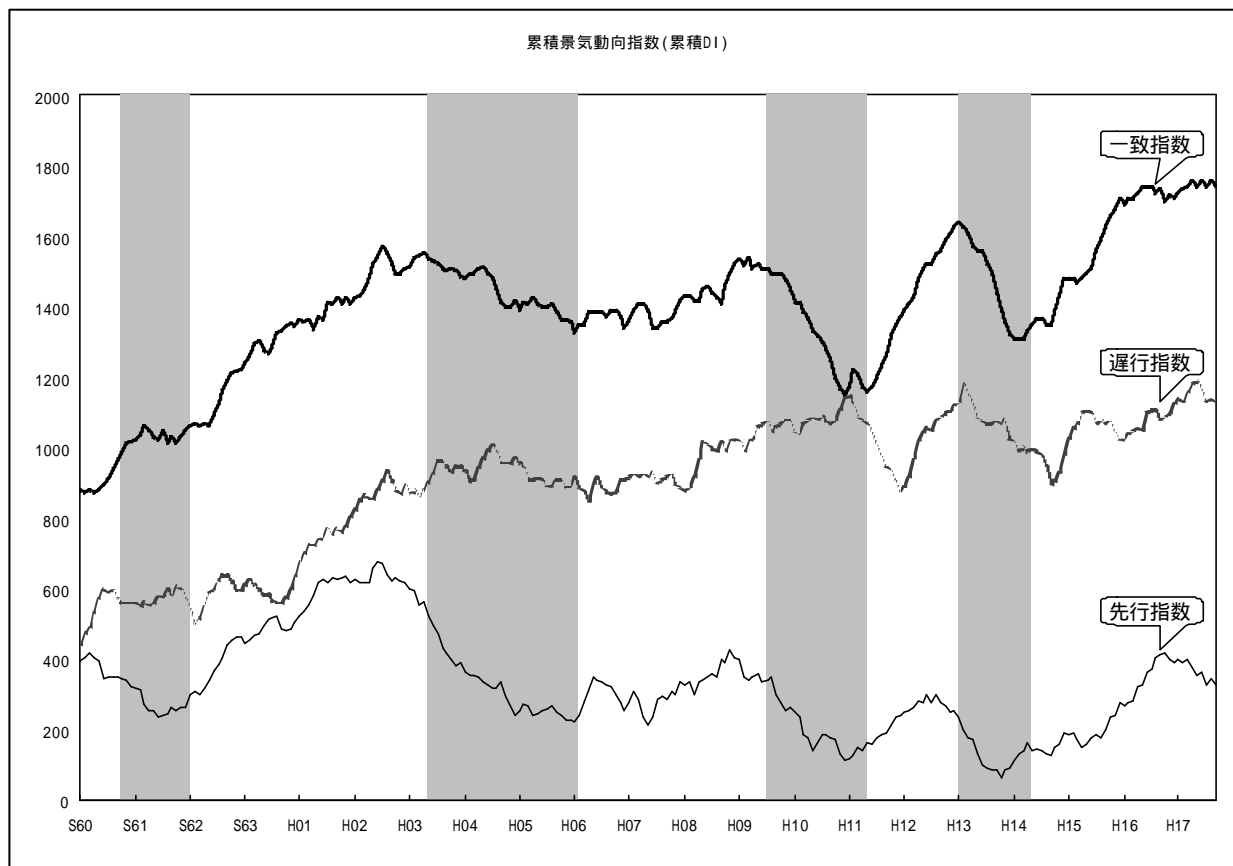
金融機関預金残高 (3 - 14表) は前年同期を上回った。また、金融機関貸出金残高 (3 - 15表) は前年同期をやや下回った。

企業・金融関連は、企業倒産件数及び負債額が前年同期を下回ったものの、依然厳しい状況にある。

## 景気動向指数

累積景気動向指数（2 - 3表）は、一致指数が緩やかな上昇傾向となっている。

（2 - 3表）



### 景気動向指数

- 1 複数の経済指標の変化（伸び率は関係ない）を合成し、数値化したものである。
- 2 景気動向指数は、景気の方角性を示すものであり、その数値の大きさは、景気変動の大きさを示すものではない。
- 3 景気動向指数には、景気に先行して動く「先行指数」、ほぼ一致して動く「一致指数」、遅れて動く「遅行指数」の3種類がある。

### 累積景気動向指数（累積DI）

- 1 景気動向指数（DI）の月々の値を累積したものが、累積景気動向指数（累積DI）である。  
今月の累積DI = 前月の累積DI + (今月のDI - 50)
- 2 累積DIには、景気の動きと連動する性質があるため、景気の動きを視覚的にとらえやすいという利点がある。  
なお、本県の景気後退期は、  
昭和60年10月～昭和61年12月、平成3年5月～平成6年1月、平成9年7月～平成11年4月  
平成13年1月～平成14年4月  
である。





**< 資料編 >**

### 3 経済指標の動き

## 生産関連

#### (1) 鉱工業指数(平成12年=100:季節調整済指数)

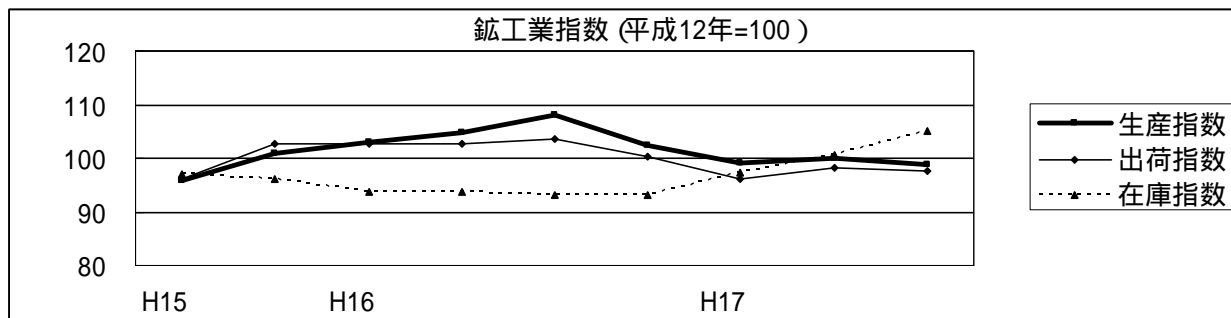
生産指数は、前期をやや下回った。  
 出荷指数は、前期をやや下回った。  
 在庫指数は、4期連続で前期を上回った。

平成12年=100 単位：%

	生産指数		出荷指数		在庫指数	
		前期比		前期比		前期比
H15	95.7	6.0	96.2	4.3	97.1	0.6
	100.8	5.3	102.6	6.7	96.0	1.1
H16	103.1	2.2	102.8	0.2	93.6	2.5
	104.7	1.6	102.7	0.1	93.7	0.1
	108.0	3.2	103.7	1.0	93.2	0.5
	102.3	5.2	100.2	3.4	93.2	0.1
H17	99.0	3.3	96.2	4.0	97.2	4.3
	99.9	0.9	98.3	2.1	100.5	3.4
	p 98.9	1.0	p 97.7	0.6	p 105.2	4.7

(資料：県統計調査課)

< 3 - 1 表 >



#### (2) 大口電力使用量

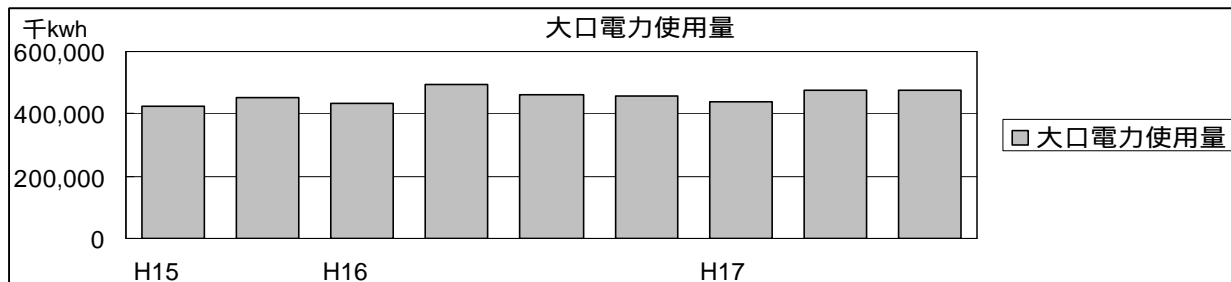
大口電力使用量は、前年同期を上回った。

単位：千kwh、%

	大口電力使用量	
		前年同期比
H15	423,829	3.8
	451,896	5.3
H16	433,228	8.4
	493,823	18.9
	459,534	8.4
	457,975	1.3
H17	438,308	1.2
	474,129	4.0
	475,962	3.6

(資料：九州電力(株)宮崎支店)

< 3 - 2 表 >



## 消費関連

### (3) 大型小売店販売額（百貨店、スーパー 計29店舗）

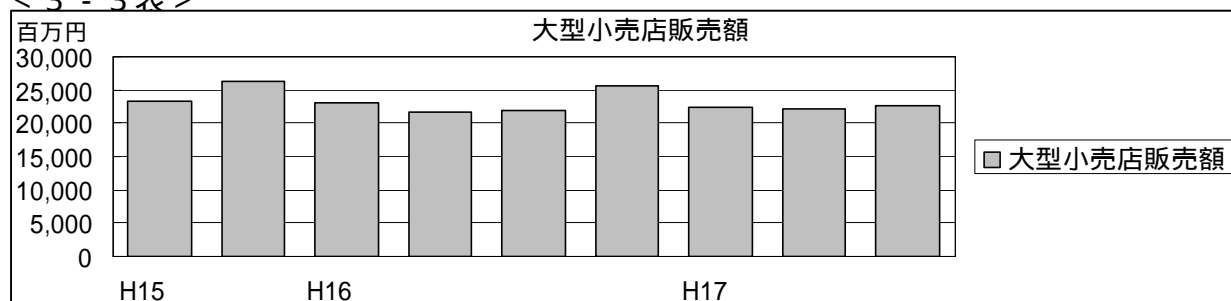
大型小売店販売額は前年同期を上回ったものの、既存店どうしの比較では前年同期を下回った。

単位：百万円、%

	衣料品	飲食料品	その他	計	前年同期比	
					既存店	
H15	8,105	8,049	7,095	23,249	10.5	8.4
	10,046	8,592	7,706	26,344	4.8	7.8
H16	9,352	7,038	6,732	23,122	4.4	6.4
	8,714	6,429	6,463	21,606	5.2	8.2
H17	7,848	7,426	6,680	21,954	5.6	5.3
	9,633	8,054	7,847	25,534	3.1	3.1
	9,104	6,386	6,916	22,406	3.1	2.9
	8,648	6,274	7,290	22,213	2.8	1.9
	7,673	7,808	7,192	22,673	3.3	6.2

（資料：経済産業省）

#### < 3 - 3表 >



百貨店及びスーパーとは、従業者50人以上の小売事業所のうち、次に該当するものである。

- (1) 百貨店：日本標準産業分類の百貨店(541)のうち、次のスーパーに該当しない事業所であって、かつ売場面積が1,500m<sup>2</sup>以上の事業所
- (2) スーパー：売場面積の50%以上について、セルフサービス方式を採用している事業所であって、かつ売場面積が1,500m<sup>2</sup>以上の事業所

### (4) 新車登録・届出台数

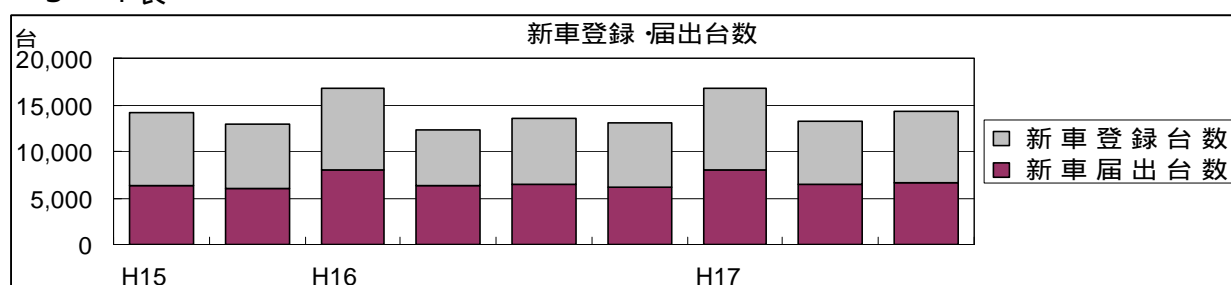
単位：台、%

新車登録台数は、4期連続で前年同期を上回った。  
新車届出台数は、2期連続で前年同期を上回った。

	新車登録台数		新車届出台数	
		前年同期比		前年同期比
H15	7,785	1.0	6,321	0.2
	6,827	10.0	6,038	0.4
H16	8,687	7.5	8,047	7.7
	6,053	9.8	6,241	3.1
	7,196	7.6	6,401	1.3
H17	6,933	1.6	6,099	1.0
	8,766	0.9	7,941	1.3
	6,800	12.3	6,406	2.6
	7,581	5.4	6,663	4.1

（資料：日本自動車販売協会連合会宮崎県支部）

#### < 3 - 4表 >



(5) 航空便利用客数

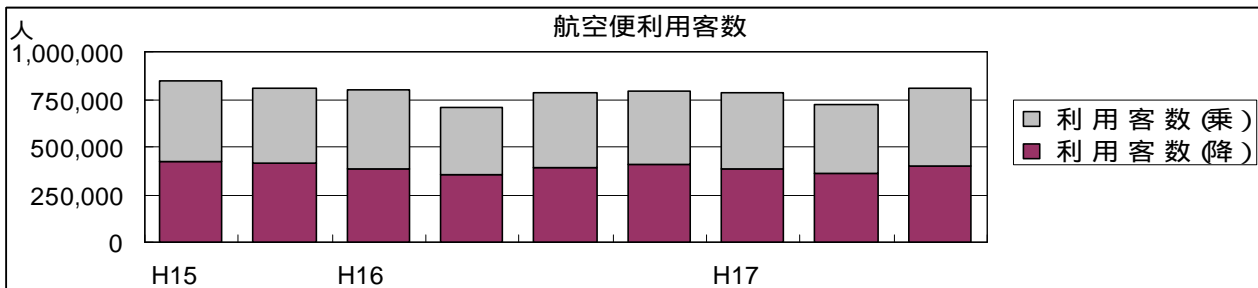
単位：人、%

乗客数は、2期連続で前年同期を上回った。  
降客数は、2期連続で前年同期を上回った。

	利用客数(乗)		利用客数(降)	
		前年同期比		前年同期比
H15	425,342	3.7	424,191	3.1
	392,589	4.5	414,612	4.9
H16	413,173	7.6	384,934	7.9
	357,792	0.3	352,575	1.0
H17	392,474	7.7	391,823	7.6
	384,371	2.1	405,069	2.3
	404,699	2.1	381,240	1.0
	362,927	1.4	359,531	2.0
	403,126	2.7	403,737	3.0

(資料：宮崎交通株)

< 3 - 5 表 >



(6) 主要ホテル・旅館宿泊客数

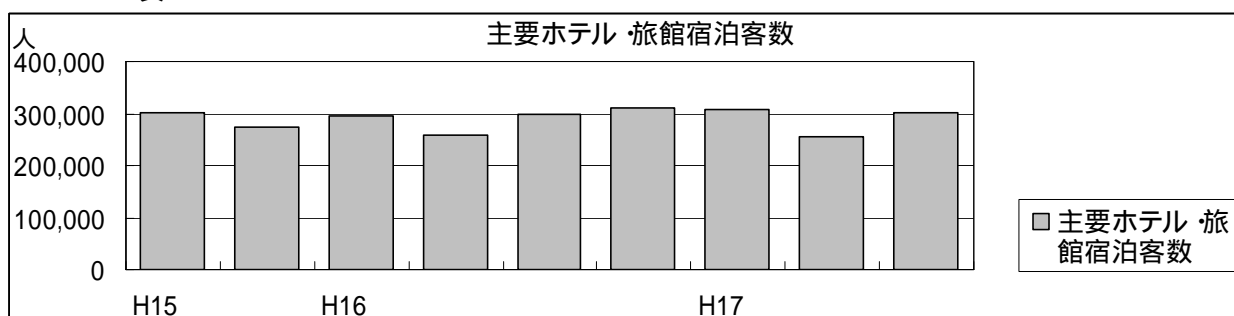
単位：人、%

主要ホテル・旅館宿泊客数は、前年同期を上回った。

	主要ホテル・旅館宿泊客数	
		前年同期比
H15	302,756	8.5
	273,865	0.6
H16	295,512	6.4
	258,692	13.6
H17	298,544	1.4
	311,224	13.6
	306,581	3.7
	254,214	1.7
	301,770	1.1

(資料：県観光・リゾート課)

< 3 - 6 表 >



(7) 消費者物価指数(平成12年=100)

平成12年=100 単位：%

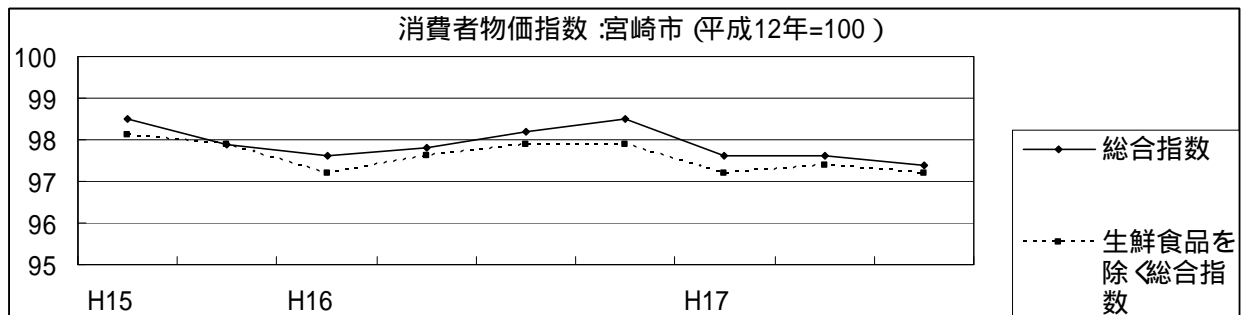
総合指数は、2期連続で前年同期をやや下回った。  
生鮮食品を除く総合指数は、2期連続で前年同期をやや下回った。

	総合指数		生鮮食品を除く総合指数	
	前年同期比	前年同期比	前年同期比	前年同期比
H15	98.5	0.3	98.1	0.1
	97.9	0.2	97.9	0.1
H16	97.6	0.2	97.2	0.2
	97.8	0.3	97.6	0.3
H17	98.2	0.3	97.9	0.2
	98.5	0.6	97.9	0.0
	97.6	0.0	97.2	0.0
	97.6	0.2	97.4	0.2
	97.4	0.8	97.2	0.7

消費者物価指数は、宮崎市の数値である。

(資料：県統計調査課)

< 3 - 7表 >



雇用・労働関連

(8) 雇用情勢

有効求人倍率(県)は、前期を下回った。  
完全失業率(国)は、前期と横ばいであった。

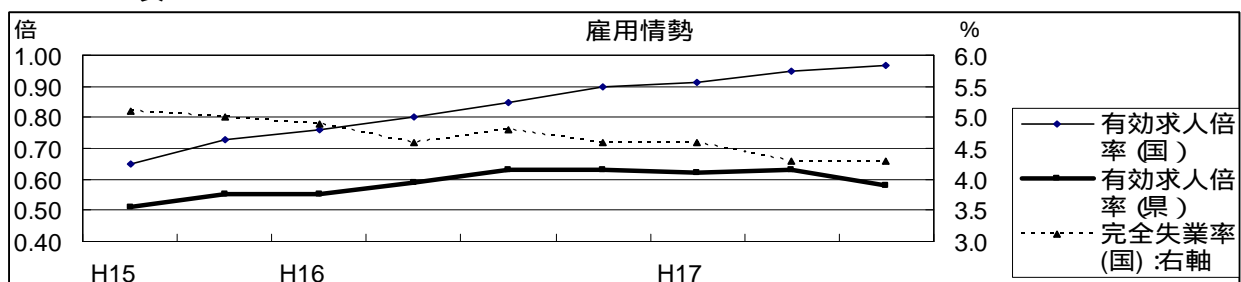
単位：倍、%、ポイント

	有効求人倍率(国)		有効求人倍率(県)		完全失業率(国)	
	前期差	前期差	前期差	前期差	前期差	前期差
H15	0.65	0.04	0.51	0.01	5.1	0.3
	0.73	0.08	0.55	0.04	5.0	0.1
H16	0.76	0.03	0.55	0.00	4.9	0.1
	0.80	0.04	0.59	0.04	4.6	0.3
H17	0.85	0.05	0.63	0.04	4.8	0.2
	0.90	0.05	0.63	0.00	4.6	0.2
	0.91	0.01	0.62	0.01	4.6	0.0
	0.95	0.04	0.63	0.01	4.3	0.3
	0.97	0.02	0.58	0.05	4.3	0.0

数値は、季節調整値である。

(資料：総務省、宮崎労働局職業安定部)

< 3 - 8表 >



(9) 求人状況

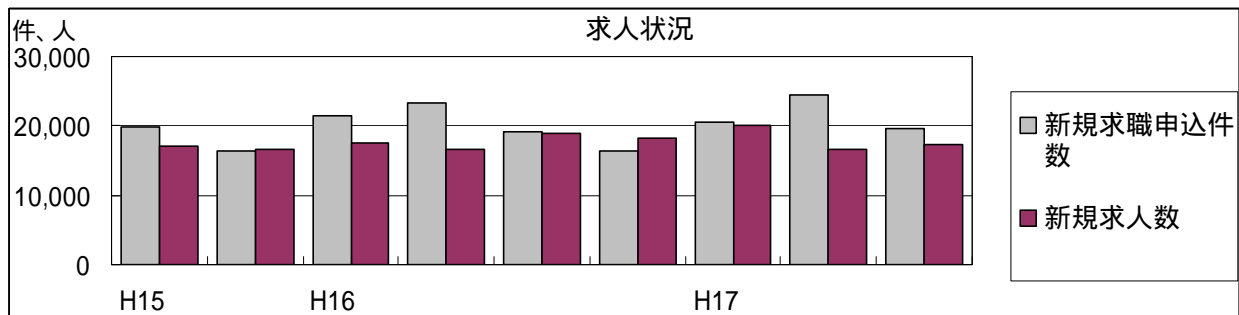
単位：件、人、%

新規求職申込件数は、2期連続で前年同期を上回った。  
新規求人数は、前年同期を下回った。

	新規求職申込件数		新規求人数	
		前年同期比		前年同期比
H15	19,835	1.4	16,968	11.3
	16,459	1.7	16,709	9.0
H16	21,478	5.5	17,598	7.2
	23,348	6.0	16,595	10.6
H17	19,190	3.3	18,944	11.6
	16,445	0.1	18,312	9.6
	20,632	3.9	20,001	13.7
	24,415	4.6	16,721	0.8
	19,626	2.3	17,216	9.1

(資料：宮崎労働局職業安定部)

< 3 - 9 表 >



(10) 労働関係指数 (平成12年=100)

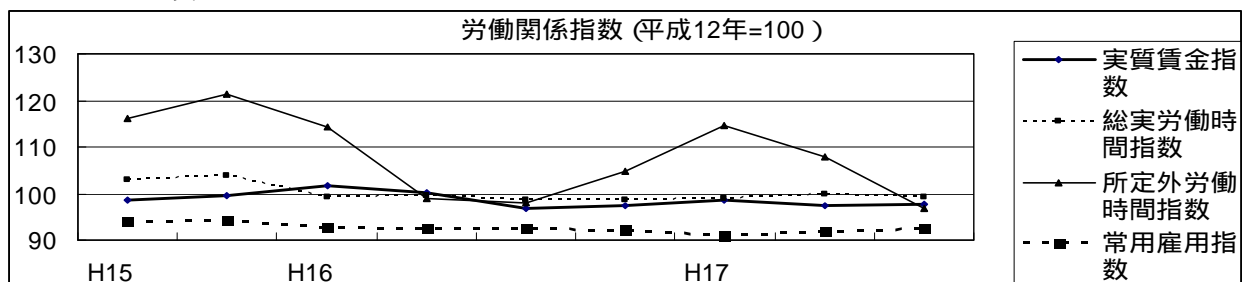
実質賃金指数は、前年同期を上回った。  
総実労働時間指数は、前年同期をやや上回った。  
所定外労働時間指数は、前年同期を下回った。  
常用雇用指数は、前年同期と横ばいとなった。

平成12年=100 単位：%

	実質賃金指数		総実労働時間指数		所定外労働時間指数		常用雇用指数	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比
H15	98.5	1.0	103.0	1.8	116.1	8.6	93.9	2.2
	99.6	1.6	103.7	0.2	121.5	2.7	94.4	1.2
H16	101.7	0.4	99.3	1.5	114.3	3.0	92.7	1.6
	100.1	1.3	99.5	5.1	98.8	12.8	92.5	1.6
H17	96.7	1.8	98.5	4.4	98.0	15.6	92.5	1.5
	97.5	2.1	98.7	4.8	104.8	13.7	92.3	2.2
	98.7	2.9	98.8	0.5	114.7	0.3	90.8	2.0
	97.4	2.7	99.9	0.4	107.9	9.2	92.0	0.5
	97.8	1.1	99.2	0.7	96.8	1.2	92.5	0.0

(資料：県統計調査課)

< 3 - 10 表 >



# 投資 関 連

## (11) 新設住宅着工戸数

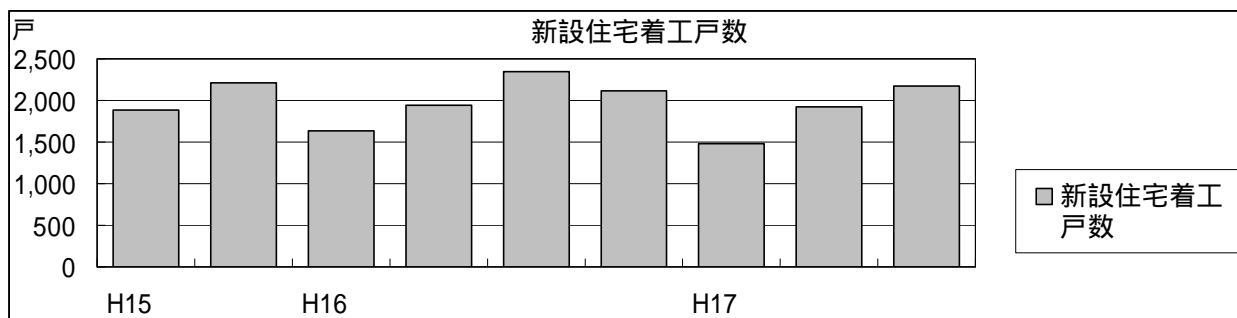
新設住宅着工戸数は、前年同期を下回った。

単位：戸、%

	新設住宅着工戸数	
	前年同期比	
H15	1,891	13.8
	2,203	2.6
H16	1,635	0.2
	1,938	3.8
H17	2,350	24.3
	2,110	4.2
	1,478	9.6
	1,929	0.5
	2,179	7.3

(資料：県建築住宅課)

< 3 - 1 1 表 >



## (12) 公共工事請負状況

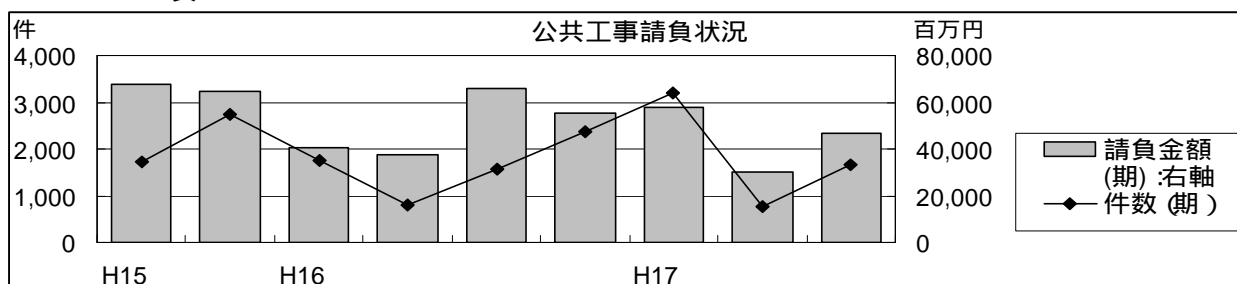
公共工事請負件数は、当期、年度累計ともに前年同期を上回った。  
公共工事請負金額は、当期、年度累計ともに前年同期を大きく下回った。

単位：件、百万円、%

	件数 (期)		件数 (年度累計)		請負金額 (期)		請負金額 (年度累計)	
	前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比	
H15	1,721	2.4	2,475	4.7	67,956	4.0	101,620	3.8
	2,733	4.9	5,208	0.1	64,313	9.3	165,934	6.0
H16	1,759	3.6	6,967	0.8	40,902	21.1	206,832	9.5
	791	4.9	791	4.9	37,752	12.1	37,752	12.1
H17	1,564	9.1	2,355	4.8	65,843	3.1	103,596	1.9
	2,372	13.2	4,727	9.2	55,559	13.6	159,157	4.1
	3,193	81.5	7,920	13.7	57,792	41.3	216,951	4.9
	762	3.7	762	3.7	30,170	20.1	30,170	20.1
	1,665	6.5	2,427	3.1	46,973	28.7	77,144	25.5

(資料：西日本建設業保証(株)宮崎支店)

< 3 - 1 2 表 >



## 企業・金融関連

### (13) 企業倒産状況（負債総額1千万円以上の法人及び個人企業）

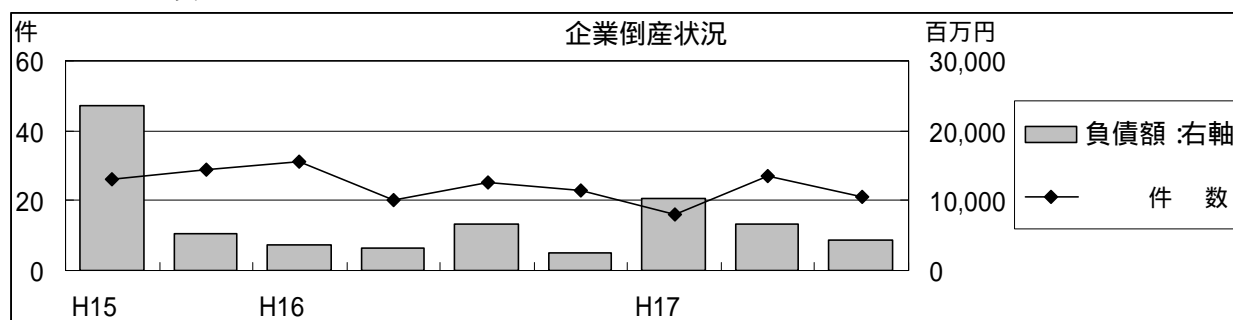
単位：件、百万円、%

企業倒産件数は、前年同期を下回った。  
負債額は、前年同期を大きく下回った。

	件数		負債額	
		前年同期比		前年同期比
H15	26	10.3	23,666	86.4
	29	0.0	5,362	98.2
H16	31	40.9	3,577	10.3
	20	35.5	3,113	76.3
	25	3.8	6,747	71.5
H17	23	20.7	2,622	51.1
	16	48.4	10,316	188.4
	27	35.0	6,661	114.0
	21	16.0	4,337	35.7

（資料：東京商工リサーチ）

#### < 3 - 13 表 >



### (14) 金融機関預金残高

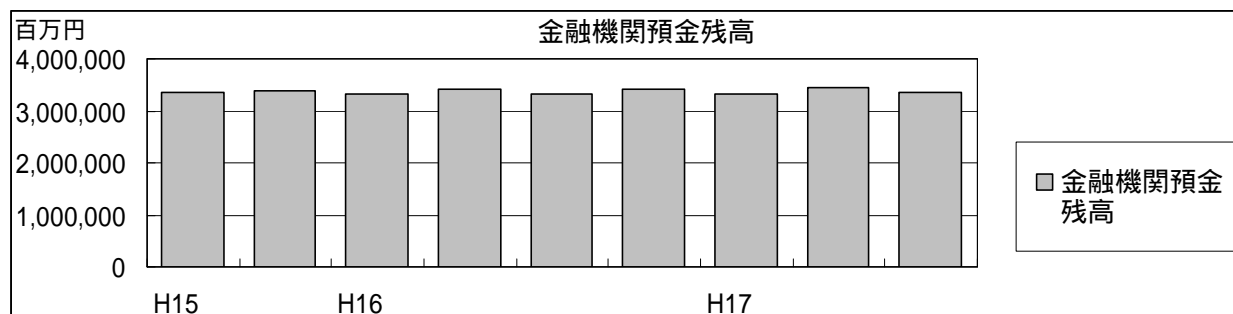
金融機関預金残高は、前年同期を上回った。

単位：百万円、%

	金融機関預金残高	
		前年同期比
H15	3,357,157	0.3
	3,397,895	0.1
H16	3,311,614	0.9
	3,413,884	0.9
	3,327,328	0.9
H17	3,422,138	0.7
	3,324,192	0.4
	3,445,819	0.9
	3,361,509	1.0

（資料：日本銀行宮崎事務所）

#### < 3 - 14 表 >





(15) 金融機関貸出金残高

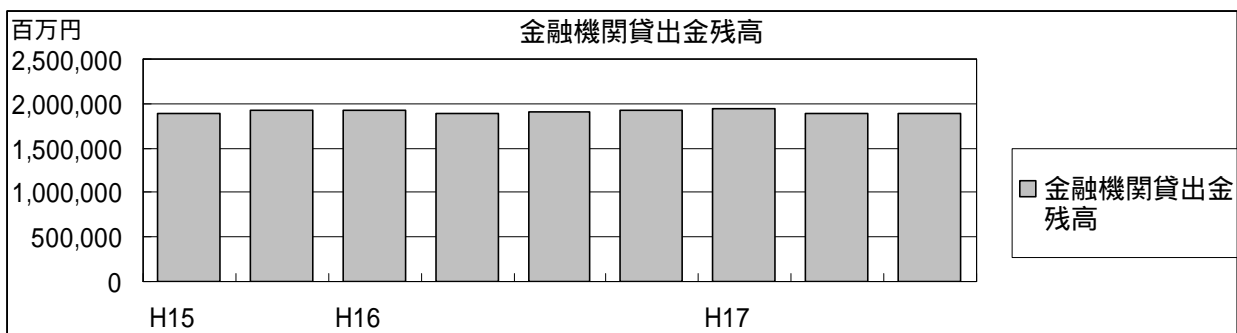
金融機関貸出金残高は、前年同期をやや下回った。

単位：百万円、%

	金融機関貸出金残高	
	前年	前年同期比
H15	1,893,087	0.4
	1,918,781	0.0
H16	1,916,942	0.2
	1,891,975	1.6
H17	1,902,245	0.5
	1,926,770	0.4
	1,950,598	1.8
	1,885,795	0.3
	1,891,760	0.6

(資料：日本銀行宮崎事務所)

< 3 - 15 表 >



(16) 景気動向指数

先行指数は、8月に50.0%を上回った。  
一致指数は、8月に50.0%を上回った。  
遅行指数は、8月に50.0%を上回った。

	先行指数	一致指数	遅行指数
H16 9月	57.1	58.3	20.0
10月	57.1	16.7	60.0
11月	28.6	66.7	60.0
12月	42.9	41.7	80.0
H17 1月	57.1	66.7	60.0
2月	42.9	58.3	40.0
3月	57.1	58.3	80.0
4月	28.6	66.7	70.0
5月	28.6	33.3	60.0
6月	57.1	66.7	20.0
7月	14.3	33.3	20.0
8月	p 66.7	66.7	60.0
9月	p 33.3	33.3	40.0

(資料：県統計調査課)

